

全道新人大会壮行会

先日、北海民友新聞の記者が来校し、本校陸上競技部が取材を受けました。内容は、支部新人大会の結果の総括や全道新人大会に向けた抱負などで、次のように掲載されました。

また9月6日(月)、緊急事態宣言中ではありましたが、Google Meetを使用してオンラインで全道新人大会の壮行会を実施しました。出場する生徒達は、校長先生や生徒会役員から激励の言葉をもらい、興部高校の代表としての決意を固めていました。

今後も本校陸上競技部は、地道に練習をし、自己ベストを出せるように頑張りますので、応援よろしくお願ひします。



取材を受ける選手達



壮行会で決意を述べる選手

2021年(令和3年)8月29日(日曜日) 第20345号



女子円盤投で陶さん大逆転V
興部高 興部高
興部高からは1、2年生4人が3種目で全道行きを決めた。女子円盤投に出場した陶愛梨さん(2年)は5投目まで全てファウルで窮地に追い込まれたが、最後の6投目で成功。他の出場者の記録を大きく上回る23m28で3位に入賞した。と興部高からは1、2年生4人が全道進出

を叩き出し、大逆転で制した。「何が起こったのか状況が飲み込めなかつたけれど、ずっとガッツポーズを握り締めていた。自己ベストを更新できて嬉しい」と喜んだ。女子砲丸投では相澤菜々美さん(同)・菜々子さん(同)・姉妹が活躍。姉の菜々美さんは32m15で2位、妹の菜々子さんは28m57で3位に入賞した。ともに30m台到達を目標に臨んだ。菜々美さんは「育休中の前顧問の先生や先輩から励まされ、やる気が出た。目標が達成でき安心。顧問の伊藤航教諭は「2年生は6月の高体連全道大会の悔しさをばねに筋力トレーニングを今まで以上に頑張ったことが結果につながった。誰か一人でも入賞できれば嬉しい」と期待を寄せた。

20、21日に網走で開催された第63回高体連オホーツク支部新人陸上競技選手権大会で紋別高(花松均校長)と興部高(大橋一夫校長)から1、2年生計9人が全道大会(9月22、24日、釧路)の出場権を獲得した。

地区新人陸上西紋勢活躍
紋別・興部高から9人が全道進出